

ITベンダとしての防犯設備士

日本電気株式会社
新事業推進本部 建設ソリューション推進部 マネージャー

正力 裕子



1. はじめに

この度は「防犯設備」に寄稿させて頂く機会を賜り、まことに有難うございます。私は昭和61年4月に日本電気株式会社（以下、NEC）に入社し、平成4年10月に防犯設備士になりました。昭和61年は、防犯設備協会が設立された年、平成4年は防犯設備士制度が制定された年で20年余にわたり、ご指導を頂いてまいりました。貴協会との深いご縁を感じるとともに感謝の気持ちを新たにしております。

その後、毎年のように資格を頂き、今ではNECグループで132名の防犯設備士が社内外で活動しております。

2. ITベンダにとっての防犯設備

私はNECで新事業推進本部 建設ソリューション推進部に所属しています。官公庁施設や原子力発電所金融業・製造業を中心とした多種多様の施設に対し、ITを活用した防犯システムのご提供をしております。

近年、施設の防犯、安全システムに占めるITの割合はますます高くなっています。

その理由の一つに、物理的な侵入や破壊だけでなく、ネットワーク上で他人になりすましたり、情報や財産に不正にアクセスするサイバー犯罪の増加があります。最近のオフィスでは、居室に入場した履歴がないとパソコンにログオンができない、あるいは一人が複数システムのID、パスワードを所有している場合でもデータベース上で複数IDを一元管理、どのシステムにアクセスしたかが一覧でわかる等の対策が取られています。これらをバックヤードで人手を介さず、正確・迅速に処理するために、弊社のIT技術が使われています。

二つめに、建設技術と通信技術の発展による施設の大型化があります。首都圏、関西を中心に超高層の複合施設、商業施設、マンションの建設が進んでいます。建物の大型化は、居住者の人数を大きく増やし管理運営を複雑にします。例えば、超高層複合施設では、数千人の入居者から入館カードの発行が申請されたり、セミナーを開催するので駐車場を50台分借りたいとか、共用会議室や食堂を予約したい等、さまざまな要望が出ます。

これらを申請書とFaxで受け付けていたのでは、手間がいくらあっても足りません。また運営サービスのスピードと正確性も落ちてしまいます。共用施設の空き情報と予約、入館カードの発行停止申請などは各テナント様のパソコンから行えることが、人手によるミスをなくし迅速なサービスを提供することにつながります。また、請求書の作成や課金業務の手間も大幅に削減する事ができます。Webブラウザとやり取りする個人情報や請求情報をIT技術によって暗号化し安全に処理することで、運営管理サービスの向上と省力化に大きく貢献しています。

3. これからの施設運営

今後、施設の大型化、運営の複雑化と共に、国際化がますます進むと考えられます。国内でも、海外製品をシステムに組み込んで欲しいというご要望を日常的に頂きます。さまざまな国の人が、時間と場所を同じくして仕事をする時代がすぐそこまで来ています。しかし、それには施設の安心、安全、環境の適正化がとても大切です。国内の犯罪発生件数は10年余り減少傾向にありますが、犯罪内容は国際化と粗暴化が進んでいると言われます。施設運営は利便性と正確性と同様に、国籍や地域、年齢を問わず、みなさんが安心して利用できる場所であることが何よりも重要です。

また、システムや機器を提供するだけでなく、その後のメンテナンスや運用を考えた維持管理が求められます。防犯設備は24時間365日、安定して動くことがあたり前で、事故を起こさないことも必要ですが、小さなミスが重大事故につながらない仕組みと運用手順がより大事です。小さな事故でも、万が一発生した場合、原因と対策がわかりやすく説明できることが信頼できる施設運営だと考えています。

4. 防犯設備士として

企業の中で仕事をしていても、防犯設備士であることでお客さまからより信頼を頂いたり、指名を頂いたりすることで、折りに触れて自覚が促されます。企業の中においても、防犯設備の実務はとても地道です。

かつて全国に事務所や工場を所有するお客さまを担当したときは、1年半かけて北海道から沖縄まで全施設の扉や防犯センサ設置箇所を1つ1つ確認してまわりました。夏は手に持った図面が汗でクタクタになり脱水症状に、冬は海辺の寒風に涙と鼻水が止まりませんでした。それでもひとつひとつの施設に防犯設備が整っていくのを見ると「やって良かったなあ」と達成感を感じることができました。真冬の極寒の施設から見上げた満点の星は今でも心に焼きついています。

これからも、利用される方のことを第一に考え、一步一步、活動していきたいと考えております。そして、地域に貢献する活動にも参加していきたいと考えております。私の住む大田区では沿線の高齢者宅の防犯相談や見守り巡回に防犯設備士が活躍しており、日頃からとても身近に感じると共に、誇らしく思います。

企業人として社会のインフラを支えるプロジェクトに関わりつつ、地域の方にも貢献する気持ちをもって活動していきます。

最後になりましたが、日頃お世話になり、ご指導を頂いております協会の方々に厚く御礼申し上げます。これからも、ご鞭撻を頂けますよう、よろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。